

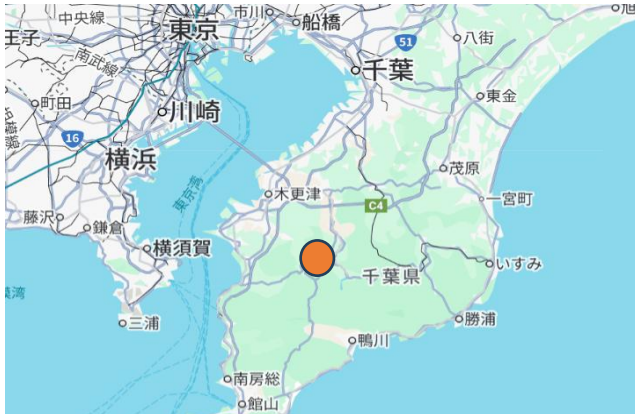
令和7年6月22日

南総里見八犬伝の舞台、房総半島の富山(とみさん)

雨季、カラ梅雨の真ただ中でも心ウキウキ、頭カラカラでノー天気の間が道の駅に到着しました



東京駅八重洲南口から高速バス海ほたる経由『道の駅富楽里』下車1時間45分



歩行時間 4時間10分

歩行距離 8.5 km

累計標高差 ±339m



東京から1時間45分、一般道からも富津館山道からも利用できる



福満寺山門に朱塗りの仁王像がたっている、こちらの像は何か臭うぞう



富山表参道の石碑を目印にU字にえぐられた階段状の山道をジグザグに仁王門跡地



東京湾、相模湾、伊豆七島、富士山の大パノラマ



あの朱色の仁王像はここ山頂にあり今福満寺の山門にあり



ランチは唯一の日陰エリア展望台下

日陰、足場床を探すとここかなし



持ち味は 令和のおしん 『臥薪嘗胆』 怖いもの知らず 『形振り構わず』 口数少なし 『寡黙沈黙』 ウサギに追いつく 『兀兀積立』 抜かりなし 『用意周到』 **と言ってます**



南総里見八犬伝とはいうものの、何も発見できず、里見浩太郎は知っている



伏姫籠穴の山門、八房が伏姫を背負って歩いた階段を詠も知らない愚者が上ってます



八犬伝で伏姫が八房と暮らしたとされる洞窟、命を絶った伏姫がここに眠ると言われます
八剣士が持っていたという八個(仁義礼智忠信孝悌)→忠・孝・悌は五常の徳を追加



八犬士と八玉の説明



仁

犬江親兵衛仁（いぬえしんべえ まさし）

仁………儒教の根本理念で自他のへだてをおかず、
一切のものに親しみなさを深くあること。
愛情を他におよぼすこと。
いつくしみ。おもいやり。



義

犬川荘助義任（いぬかわそうすけ よしとう）

義………道理。人間として行うべきすじみち。
利害をすて、条理にしたがって人のためにつくすこと。



曲亭馬琴肖像
（戯作六家撰 所収）
館山市立博物館蔵



礼

犬村大角礼儀（いぬむらだいかく まさのり）

礼………人の行うべき道。
社会の秩序を保つための生活上の定まった形式。
敬意をもって、きまりにしたがうこと。
うやまっておじぎをすること。



智

犬坂毛野胤智（いぬさかけの たねとも）

智………物事をよく理解しわきまえていること。
かしこいこと。
是非を判断する心の作用。ちえ。



忠

犬山道節忠与（いぬやまどうせつ ただとも）

忠………真心をつくして忠実なこと。まめやか。
主君に対して、臣下としての真心をつくすこと。



信

犬飼現八信道（いぬかいげんぱち のぶみち）

信………欺かないこと。言をたがえぬこと。
思い込んでうたがわないこと。
信用すること。帰依すること。



孝

犬塚信乃戌孝（いぬづかしの もりたか）

孝………父母によく仕えること。
父母を大切にする。



悌

犬田小文吾悌順（いぬたこぶんご やすより）

悌………よく兄または長者（年長者など）につかえて柔順なこと。
弟または長幼間の情誼の厚いこと。

<p>打ち上げ</p> <p>伏姫 さんが焼</p> 	<p>味噌焼き『なめろう』</p> 	<p>住所 最寄り駅 南房総市市部111 岩井駅[出口]徒歩4分 0470-57-2777 土日 11:00~15:00 17:30~21:00 店主との約束 入店が15時前ならOK 前日までに予約必要</p>
--	--	---

アジフライ、新鮮野菜に味噌焼き『なめろう』



八犬伝ならぬ5嫌伝の暴走半島旅行記でした



JR岩井駅から特急で錦糸町乗り換えでしたが、さらにもう1件はしごしました

